

藤井聡太八冠のこと

暗いニュースが多い中、10月11日の夜は、速報のテロップが流れ、どのニュース番組も藤井聡太八冠の誕生を報道していました。12日の新聞は、スポーツ紙を含めた全朝刊が、一面で藤井八冠の誕生を祝い、秋の明るい涼風が日本全土に届けられました。コンビ二で新聞を見ると「制覇・独占・奪取・一強・頂点・偉業・称賛・史上初」の活字が踊っていました。各界の著名人からも祝福の声が上がりました。

「字塔」というコメントが強く印象に残りました。藤井八冠は、2016年史上最年少の14歳2カ月でプロ入りし、デビューから歴代1位の29連勝を果たしました。その後も最年少で棋戦優勝やタイトル獲得、防衛等、将棋界の歴史を大きく塗り替えてきました。王座獲得により、自身のタイトル戦連覇記録を18回に更新し、通算獲得タイトルも18期となりました。将棋は九×九の限られた空間における頭脳の格闘技です。升目の中で駒を動かすだけの将棋がなぜ国民を虜にするのか不思議です。藤井八冠は、常に冷静でプレッシャーをものともせず、誰も知らない前人未踏の道をどこまで突き進んでいくのか楽しみです。

○語彙力チェック

①「二種類の職業や立場を兼ねる」意味の「二足の□□□」の□に入る語は次のどれか
A そうり B わらじ

②「似たり寄ったり」の正しい意味はどちらか。
A どっこいどっこい B あっちこっち

③「日常□□」の□に適当な語を入れよ。
A 喫茶 B 茶飯 C 飲食

④「二兎を追うものは一兎をも得ず」の反対の意味は次のどれか。
A 株を守って兎を待つ B 虻蜂とらず

C 一石二鳥
⑤「二の足を踏む」の正しい意味は次のどれか。
A あつかましい B ためらう

C 無神経だ D 退散する
⑥次の文はどちらの表現が正しいか。

A 驚きのあまり二の句をついでしまった。
B 驚きのあまり二の句をつげなかった

（解答）①B ②A ③B ④C ⑤B ⑥B